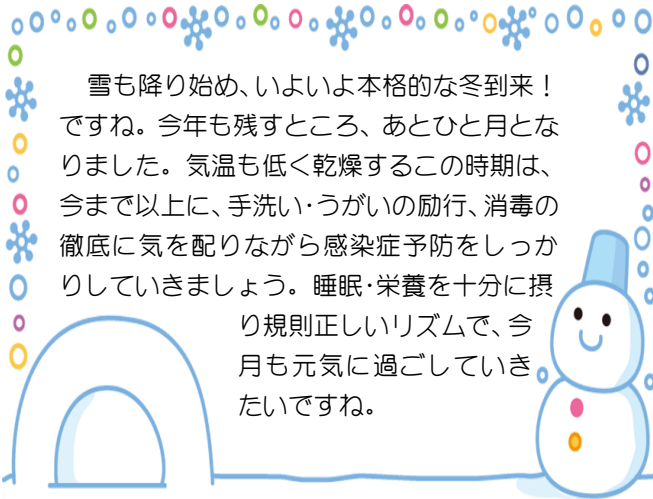




たんぽぽだより



令和2年12月号 No.65
砂川市病児・病後児保育施設
Tel 0125-54-2278



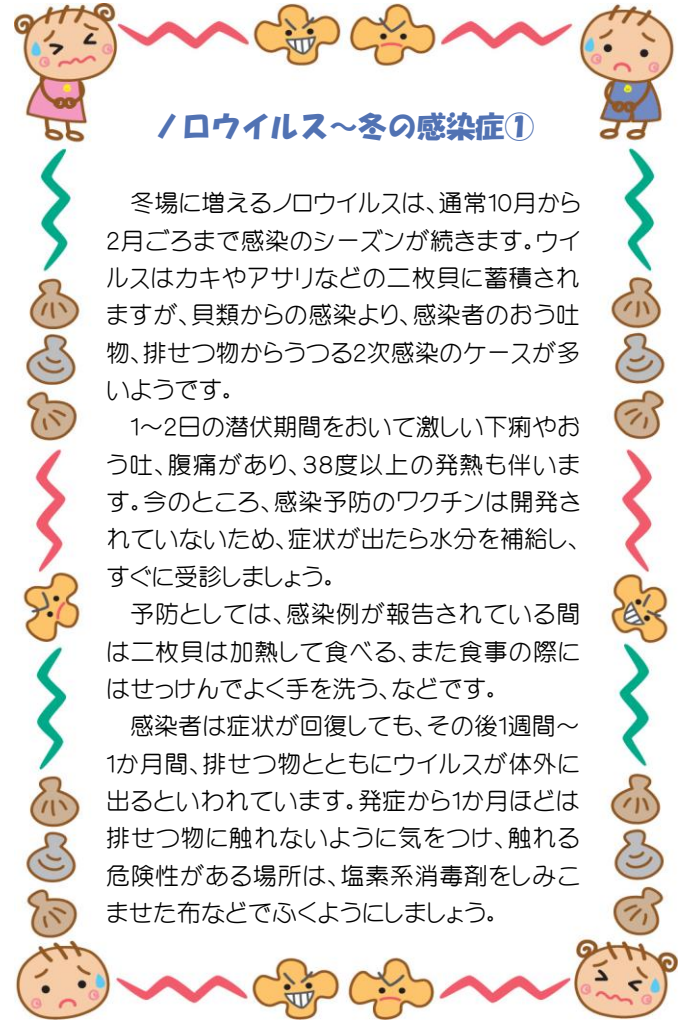
雪も降り始め、いよいよ本格的な冬到来！
ですね。今年も残すところ、あとひと月となり
ました。気温も低く乾燥するこの時期は、
今まで以上に、手洗い・うがいの励行、消毒の
徹底に気を配りながら感染症予防をしっかり
行っていきましょう。睡眠・栄養を十分に摂
り規則正しいリズムで、今
月も元気に過ごしていき
たいですね。

病児・病後児保育のようす

今月は中耳炎等での利用がありました。玄関や保育室の
壁面もクリスマス・ゆきだるまなどになりました。



病児・病後児保育の登録をしませんか？



ノロウイルス～冬の感染症①

冬場に増えるノロウイルスは、通常10月から
2月ごろまで感染のシーズンが続きます。ウイル
スはカキやアサリなどの二枚貝に蓄積され
ますが、貝類からの感染より、感染者のおう吐
物、排せつ物からうつる2次感染のケースが多
いようです。

1～2日の潜伏期間をおいて激しい下痢やお
う吐、腹痛があり、38度以上の発熱も伴いま
す。今のところ、感染予防のワクチンは開発さ
れていないため、症状が出たら水分を補給し、
すぐに受診しましょう。

予防としては、感染例が報告されている間
は二枚貝は加熱して食べる、また食事の際に
はせっけんをよく手を洗う、などです。

感染者は症状が回復しても、その後1週間～
1か月間、排せつ物とともにウイルスが体外に
出るといわれています。発症から1か月ほどは
排せつ物に触れないように気をつけ、触れる
危険性がある場所は、塩素系消毒剤をしみこ
ませた布などでふくようにしましょう。

感染性胃腸炎～冬の感染症②

原因

ウイルス性の感染によるもの。ノロ
ウイルス、ロタウイルス、アデノウイル
スが代表的。主に経口、接触感染、飛
沫感染。生後半年～2歳くらいの子が
多くかかる。

症状

激しいおう吐の症状が突然現れ、
下痢がそれに続き、発熱もある。ロタ
ウイルスに感染の場合は、便が白っぽ
くなることも。

対応

激しい下痢が続くので、イオン飲料
や湯冷ましなどで十分に水分補給を
し、脱水症状にならないようにする。症
状は2～3日から1週間程度で治まる。

